

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		6/28~7/5	7/5~7/12	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	0.027	0.028
		セシウム137	0.200	0.170
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.063	0.091
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.058	0.074
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	0.019	不検出
		セシウム137	0.14	0.16
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.041	0.077
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.061	0.082
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.055	0.054
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	0.063
		セシウム137	不検出	0.460

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		6/28~7/5	7/5~7/12	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.046	0.054
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.027	0.047

検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第65回目  
大気浮遊じん放射能測定結果の解説  
(平成29年6月28日~平成29年7月12日)

平成29年6月28日~7月12日の間、南相馬市の大気浮遊じん中の放射能濃度は、引き続き低い値で推移しており健康影響を心配することはありません。植物が大地から放射性セシウムを取り込むことはほとんどありませんし注1、今の状態で大気から農産物に放射能が付着することはありません。放射能汚染の心配をすることなく新鮮な野菜をたくさん摂って夏を乗り越えてください。  
注1 南相馬市の食品の放射能汚染測定結果  
<http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/10,0,59,199.html>